

## 椎骨脳底動脈循環不全

首を無理に曲げることがめまいや失神のもとになるのは、「頸動脈洞反射」けいどうみやくどうはんしつだけでない。

65歳のY子さん。時々、めまいを起こすようになった。あちこちの医者に診てもらったが、原因がよく分からない。それで、ワッシーもドクターショッピングの対象に選ばれたというわけだ。で長いY子さんの話を聞いていると、ある医者に、「椎骨脳底動脈循環不全（Vバー）」しほつこくねうていどうみやくかかんふぜんではと言われたという。

が、さて。Vバーというのは、首を曲げた時などに、頸椎の骨の中を走る椎骨動脈や脳底動脈の血流が悪くなってめまいや失神を起こす病気である。もともと動脈硬化があつて、頸椎の変形も見られる高齢者では疑われやすい。が、実際には、この病気に、ワッシーも経験は少ないのだ。

「頭を下げていて、急に頭を上げた時とか、後ろを振り向いた時に、フワッとくるとY子さんは熱演してくれる。が、症状は、他に後ろ頭が重いということだけである。本当のVバーなら、めまいの他に、脳幹や小脳の症状が出るはずだ。つまり、

ふらつきなどの歩行障害、呂律が回らないろれつという言葉障害、ものが二重に見える複視などがあるはずである。

めまいがしたときには、症状はあつた。でも、患者さんは気が付かなかった。か、忘れたということはある。確かに、レントゲン検査では、変形性頸椎症がみられるのだ。でも、MRA（磁気共鳴血管画像）では、椎骨動脈に異常はみられないではないか。

となれば、Vバーの診断はあやしい。ひょっとしたら、Y子さんのめまいは、首の筋肉が固くなって起きる「頸性めまい」ではなからうか。ま、その正否はともかく、頸椎の変形を隠し持っている高齢者は、安易に首を曲げ伸ばししない方が良いいことと違いはない。

（石黒修三＝いしぐろクリニック・脳神経

外科専門医…4/18北國新聞掲載）